

女性の皆様へ

経膈超音波(エコー)検査のご案内

経膈超音波(エコー)検査とは、膈から「プローブ」という器具を挿入して、子宮や卵巣の状態を調べる検査です。痛みはほとんどなく、子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍などの診断に有効です。

2019年度に偶数年齢となる方は、協会けんぽから子宮頸がん検診(子宮頸部細胞診のみ)の助成が出ます。子宮頸がん検診を希望される方は、より精度の高い検診のために、経膈超音波検査の追加をお勧めします。
(経膈超音波検査のみの受診はできません。)

また、奇数年齢になる方は、協会けんぽからの助成が出ませんので、子宮がん検診を希望される場合は、経膈超音波検査とセットでの受診となります。

自己負担額(税込)

2019年4月2日～ 2020年4月1日の年齢	子宮頸がん検診 (子宮頸部細胞診)	経膈超音波 (エコー)検査
偶数年齢となる方 ⇒ 協会けんぽ助成対象者	1,020 円 (1,039 円)	3,620 円 (3,687 円)
奇数年齢となる方 ⇒ 協会けんぽ助成対象外		7,020 円 (7,150 円)

※()内は消費税率が10%へ変更された場合の金額です。

※経膈超音波検査は、一度も性行為経験がない方には不向きな検査です。

※経膈超音波検査の追加を希望される方は、『生活習慣病予防健診申込書』の「備考」欄に「経膈エコー」とご記入ください。

※受診対象年齢、検査項目の詳細等については、協会けんぽから送付される『生活習慣病予防健診のご案内』を参照ください。